

「書物を批評するということ

—成蹊大学所蔵の作家直筆原稿から—

現在、成蹊大学図書館では、2010年「国民読書年」に関わる活動の一環として、「書評&本のキャッチコピーコンクール」を開催中です。

これに関連して、本学で所蔵している作家の直筆原稿の中から、作家（画家）やその著作（作品）についての批評文と、批評をテーマとしたレポートを展示することにいたしました。

大正から昭和初期にかけての貴重な直筆原稿から、当時の作家の批評に対する思いや息遣いを身近に感じていただくとともに、作家や作品を批評することへの興味につながれば幸いです。

成蹊大学図書館

期 間：2010年10月18日(月)～29日(金) 9:30～16:30

※土・日は展示を休みます。

会 場：成蹊大学図書館 2Fカウンター前 展示ケース

展示物：『川端康成草稿：文芸批評に就て』

『広津和郎草稿資料』より、6点

「点鬼簿」と「歯車」

「芥川の嘘と真実」

「平林たい子の作品」

「徳永直の小説」

「志賀直哉論」

「梅原龍三郎氏について」